

というのですか、そのような位置付けをされる
という事は、非常に重要なものでございます。

日本に住んでいると、いつでも自由に水道の
水を飲めるという事でございますけれども、決
して世界全体ではそのような事が無いという事
でございます。是非、「ロータリーの友」を皆様
方に読んで頂いて、その環境について考えて頂
ければと思っております。

4月というのは、雑誌月間という事でござい
ますので、来週の例会でもやはり、その雑誌につ
いての事を取り上げて頂きます。皆様、当然お
読みだと思いますけれども、買うということだけ
なく、中をじっくり読んで頂ければ、非常
に素晴らしい事が書いてあるので宜しくお願
い申し上げます。以上でございます。

■会務報告 國枝 千秋幹事

(1)帶広北RC、移動夜間例会開催のご案内

日 時 平成19年4月6日(金)午後6時30分
場 所 ジグザグ

(2)帶広南RC、夜間例会開催のご案内

日 時 平成19年4月9日(月)午後6時
場 所 北海道ホテル

(3)帶広北RC、4月27日(金)は休会と致します。

帶広南RC、4月30日(月)は祭日振替休会と致
します。

帶広RC、移動夜間例会開催のご案内(花見例会)

日 時 平成19年5月9日(水)午後6時
場 所 北海道ホテル

■委員会報告

・ロータリー財団委員会 清水 茂彰委員長
今日はお願いがありまして、皆様全員に財団
に関する内容の封筒をお配り致しました。ポー
ルハリスフェローになっていらっしゃる方は約
60%、まだ40%の方が1000ドル未満という事で
成っておりません。

その件に関して、クラブでは何とか全員がボ
ールハリスフェローになろうじゃないかと言う
田中パストガバナーの提案なのです。既になっ
ている方につきましては、持っている認証ポイ
ントを譲渡して頂けませんかという、2種類の文
書が入ってます。残り後3ヶ月余りですので、ご
協力の程是非宜しくお願ひ致します。

・出席報告 高原 淳出席委員長
4月4日例会 会員総数103名(出席免除11名)

出席58名

3月7日例会のメーフィヤップを含む出席

数及び出席率 83名 87.4%

・ニコニコ献金 中田 知徳親睦活動委員

土田 和夫会員

出がけに忙しくて、ロータリーバッヂを忘れま
した。田守会員に感謝します。

奥原 宏会員

長女が畜大大学院に進学、長男が東京で就職
致しました。

合田 倫佳会員

本日、ゲスト卓話を担当させて頂きます。

・会員誕生日

大滝 信臣 大滝 欽也 平原 隆

白石 俊之 内木 泰永 土田 和夫

田端 祥信

・会員配偶者誕生日

白石 俊之 奥原 宏 讀岐 武史

高原 淳

・ご結婚祝い

大滝 信臣 大滝 欽也 土田 和夫

道 吉見 後藤 裕弘 倉野 賢

清水 茂彰 小澤 昌博 奥 周盛

青山 俊市

■閉会宣言

小枝美奈子SAA

■点鐘

高橋 猛文会長

■4月プログラム予定

4月11日「会員卓話」(広報・雑誌委員会)

竹川 博之広報・雑誌委員会委員長

「ロータリーの雑誌について」

宇佐美 暢子会員

「効果的広報とは」

4月18日「ゲスト」

第6分区ガバナー補佐 仲村 晋様

「会員卓話」(環境保全委員会)

内木 泰永会員

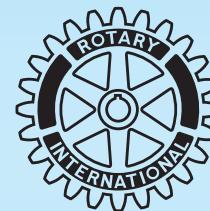
「天然ガス転換による環境負荷の軽減について」

4月25日「ゲスト卓話」(プログラム委員会)

帶広松下電工代表取締役社長

小野 健治様

「ものづくりを強化する」



ROTARY CLUB OF OBIIHIRO DISTRICT 2500

2006-2007年度国際ロータリーのテーマ

率先しよう LEAD THE WAY

方針 原 点

会長 高橋 猛文



■プログラム

趣旨説明

合田 倫佳新世代委員長

本日は、当委員会が企画
致しました例会は、小学校
に通う子供達の教育に関する
テーマを選定致しました。
時代を担う子供達が、今ど
のような環境で学んでいる
かを知って頂き、新しい世
代を託す為の一助となれば
幸いです。



「帯広市の小中学校の現状と展望」

帯広市立啓北小学校校長 久門 好行様



只今、ご紹介を頂きました久門でございます。
教育委員会にお世話になっておりました頃、大
変ご指導・ご支援を頂いた方が沢山いらっしゃ
います。本当にありがとうございます。また、
今日はこうしたロータリークラブの例会にお招
き頂きまして、本当に光栄に存じております。

本日は、「帯広市の小中学校の現状と展望」と
言うことで少しお話しをさせて頂きたいと思
っております。

I.教育改革の流れ

〈教育基本法の改正〉

○昨年12月、60年ぶりに「教育基本法」が改正
されました。道徳心や自主・自律の精神、公
共の精神、伝統と文化の尊重、郷土を愛する
心など、まさに今もとめられている教育の理
憲などについて規定されています。

〈義務教育の構造改革〉

○昨年1月、小阪文部科学大臣が「教育改革のた
めの重点行動計画」を発表しました。この中
で、「活力ある人材を育てるための教育の充実」
として4点掲げています。①確かな学力の向上
②豊かな心の育成 ③健やかな体の育成 そ
して④「自立し挑戦する若者の育成」です。
したがって、今日は知育、德育、体育のそれ
ぞの観点からお話をさせていただきます。

II.確かな学力の向上

〈PISA2003 学習到達度調査〉

○この調査は、OECDに加盟する41カ国・地域か
ら約28万人の高校1年生が参加して、「数学的
リテラシー」「読解力」「科学的リテラシー」
の主要3分野において行われました。

○3年前と比較して、「数学的リテラシー」が1位
から6位に後退、「読解力」が8位から14位に後
退、「科学的リテラシー」は同様の2位という
結果でした。とりわけ、「読解力」については、
2000年と比べて2003年は、習熟度レベル1未満
からレベル2までのいわゆる下位グループの生
徒の割合が増え、反対にレベル3からレベル5
までのいわゆる上位グループの割合が減り、
全体的に上位から下位グループへ移行してい
ることがわかります。

○学力が低下している背景として、①「ゆとり
教育」によって、学習内容や授業時数が減っ



例会日／水曜日 12:30~13:30 例会会場／ホテルノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立／昭和10年3月15日 ●認証番号／3820 ●戦後再開／昭和25年12月19日



事務局／帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行／クラブ会報 ●委員長／和田 賢二・石神 美代・加藤 維利・小部 敏一・小白 智志

木本 健・佐藤 陸浩・宇佐美 暢子

●ホームページアドレス／<http://www.tokachi.co.jp/obihiro-rc/>

したこと。②受験圧力が弱くなり、学習意欲が減退したこと。③テレビの長時間視聴や学校外での勉強時間減少したこと。宿題や自分の勉強する時間は、日本が1週間で6~5時間であり、OECD平均の8~9時間より少なくなっています。④「指導より支援」、「活動中心」、「子どもの興味・関心の重視」の風潮など、大きく4点があげられています。

〈文部科学省・市教委・各学校の対応〉

- こうしたことから、「確かな学力」を育成するために、文部科学省においては、中教審教育課程部会において、学習指導要領の見直しを進めています。見直しの観点として、①「読み・書き・計算」などの基礎・基本を確実に定着させ、教えて考えさせる教育を基本とし、自ら学び自ら考え方行動する力を育成すること。②将来の職業や生活の見通しを与えるなど、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させる教育を充実し、学ぶ意欲を高めること。③家庭と連携し、基本的な生活習慣、学習習慣を確立すること。④国際社会に生きる日本人としての自覚を育てること。
- 市教委では、来年度から国が行う「全国学力調査」に参加していきます。4月24日、小学6年生と中学3年生全員を対象とし、児童生徒の学習到達度・理解度を把握し、今後の学習改善に生かしていきます。

また、各学校に図書館司書を配置するとともに、「学校図書館活性化支援事業」等により図書ボランティアの配置、読み聞かせの実施に取り組んでいきます。

III. 豊かな心の育成

〈いじめへの対応〉

- 市教委では「いじめの実態調査」を行っています。年4回の調査で約100件のいじめが報告されています。

○いじめの態様は、「冷やかし・からかい」がもっとも多く、次いで「おどし」、「仲間はずれ」、「持ち物隠し」などとなっています。中には「叩くなどの暴力」や「インターネットを悪用したいじめ」などもあります。

○いじめの背景には、核家族化や少子化などによる人間関係の希薄さ、社会性の欠如、規範意識の低下などがあげられます。

○いじめの構図は一般的に、被害者、加害者、観客、傍観者の4層構造になっていて、第3層の「観客」と第4層の傍観者が解決の鍵を握っています。次に自分がターゲットになること

を怖れてみて見ぬふりをする子どもが増えています。ここをどのようにしていくかが問われています。

〈道徳教育の推進〉

- いじめをなくすためには、豊かな心をはぐくむ道徳教育の充実が求められています。
- また、子どもたちの社会性や豊かな人間性をはぐくむためには、成長段階に応じて、ボランティア活動や自然体験活動を行うことが重要です。

○市教委では、平成8年から「いじめ・非行防止親子サミット」や「帯広中学生の日」「帯広小学生の日」を実施し、いじめや不登校、非行防止に取り組んでいます。

○また、本年2月、市教委と帯広警察署とが連携して「サポートシステム」を締結し、問題行動の未然防止・再発防止に取り組みます。

〈不登校への対応〉

○平成17年度の不登校児童生徒数は、12万人を超えていましたが、4年連続で減少し、小・中学校児童生徒の在籍比は、全国1.53%、全道1.14%、帯広市1.11%です。

○帯広市内の不登校児童生徒数は、小中学校合わせて約130名で、その原因は、①本人にかかる問題(61件)、②友人関係をめぐる問題(7件)、③病気による欠席(5件)、④家庭の生活環境の急激な変化(4件)です。

○不登校児童生徒に対し適応指導教室「ひろびろ」の啓発活動の充実に努めるとともに、心の教室相談員やスクールカウンセラーとの連携を進め、スクールカウンセラーを3名配置し、よりきめの細かい教育相談体制をとっています。また、アクティブ・サポーター(いわゆる家庭相談員)による家庭訪問を通して、不登校児童生徒や保護者からの教育相談を受けるなどサポート体制作りを進めています。

〈特別支援教育の推進〉

○今年度から「特別支援教育」として、現在、通常の学級にLD児(学習障害)・ADHD(注意欠陥多動性障害)・高機能自閉症などを含む障害のある児童生徒に対して、適切な教育的支援を行うため、校内に「特別支援コーディネーター」の配置、「校内委員会」の設置を決め、今年度情緒障害学級を6校開設するし、「特別支援教育補助員」を拡充配置して特別支援教育を推進してまいります。

IV. 健やかな体の育成

〈食育の推進〉

- 中学生の就寝時間調べで、24時以降に寝る中学生は、10年前と比べ10倍の52.5%おり、体内時計が壊れて夜型になってきます。
- 朝食の欠食状況は、小学生が約10%、中学生が16%、高校生が21%となっています。
- 市内の小学校でアンケート調査をした結果、①朝ごはんをまったく食べない子6%、食べたり食べなかったりする子14%、②朝ごはんのときおなかがすいていない子48%、③朝ごはんを独りで食べる子18%、④朝、誰かに起こされる子42%、⑤毎朝、家の人に「おはよう」と挨拶している子52%となっています。

「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣がしっかりと身についている子は、気力ややる気があり、学力や体力が備わっていることが各種の調査結果から分かっています。

〈「早寝早起き朝ごはん」国民運動〉

- 文部科学省では、平成18年度から地域全体で家庭の教育力を支えるために、「早寝早起き朝ごはん」の国民運動を全国展開しています。
- また、学校において食育を推進するために栄養教諭を中心に食に関する全体計画の作成、学校給食の地場産品活用に取り組んでいます。

V. 開かれた信頼される学校づくり

〈安全・安心な学校・地域づくり〉

○不審者や事件・事故、災害などから、子どもを守る取組を進めると共に、子どもが自らを守ることができるよう、各学校においては、通学路の安全点検、「危険箇所マップ」作り、防犯教室の開催、子ども見守り隊の立ち上げなどに取り組んでいます。

○市教委では、今年、「緊急情報一斉配信システム」を導入します。これは、不審者情報や緊急情報を市内全家庭に一斉配信し、子どもたちの安全を確保するネットワークです。市教委からの一斉配信は、全国でも珍しいケースです。

○また、市教委では「CAP」の取り組みを進めています。CAP(Child 子ども Assault 暴力 Prevention 防止)とは、子どもへの暴力を防止・予防する人権教育プログラムのことです。

○これからの中は、学校の力だけで行えるものではありません。地域住民や保護者の協力を得ながら、学校に外からの風を送り込み、その地域ならではの特色を生かした学校づくり、信頼される学校づくりをすすめなければなりません。

なりません。

本日は、ありがとうございました。

■点鐘

高橋 猛文会長

■開会宣言

小枝美奈子SAA

■国家斎唱

■ロータリーソング(四つのテスト)

小枝美奈子SAA

■ゲスト紹介

高橋 猛文会長

帯広市立啓北小学校校長 久門 好行様

■4月結婚祝

親睦活動副委員会

大滝 信臣会員S32.4.29 大滝 欽也会員S40.4.28

土田 和夫会員S44.4.19 道 吉見会員S47.4.5

後藤 裕弘会員S49.4.13 倉野 賢会員S50.4.6

加藤 維利会員S52.4.10 清水 茂彰会員S52.4.10

塚平 洋二会員S54.4.29 小白 智志会員S56.4.27

合田 修会員S58.4.17 高橋 直会員S60.4.20

竹川 博之会員S61.4.26 小澤 昌博会員S63.4.30

奥 周盛会員H6.4.23 青山 俊市会員H10.4.5

■4月誕生日

野村文吾親睦活動副委員長

大滝 信臣会員S 2.4.18 大滝 欽也会員S10.4.15

平原 隆会員S10.4.26 白石 俊之会員S11.4.29

國枝 宏有会員S12.4.26 土田 和夫会員S18.4.13

宮坂 寿文会員S30.4.15 田端 祥信会員S33.4.19



■バースデーソング

■会長報告

高橋 猛文会長

皆さんこんにちは、ロータリーでは違いますけれども、新年度を迎えてという事でそれぞれの会社等で、今年度の運営方針などをお話しした事と思います。

何度もお話ししておりますが、今年度R I のボイド会長は環境問題について非常にご熱心に説かれております。今月の「ロータリーの友」にも、やはり水のことが書いてあります。是非それぞれの会員さんの企業・団体でも、そういう水に関する関心を高めて頂ければと思います。これは、世界的に食糧とかそういう事がありますけれども、水そのものが遠からず所謂戦略品